



クルーズ船受入環境の改善(和歌山下津港、新宮港)

“世界遺産地域 紀伊半島”の海の玄関口！

現在 now



将来 future

インフラ



紀南地域の物流と観光の拠点

波を穏やかにする**防波堤の整備が完了**引き続き、**未舗装の荷捌き地を整備中**

大型クルーズ船の入港が実現

防波堤の効果で、4年ぶりに「飛鳥Ⅱ」が寄港。平成28年からフランスのクルーズ船も寄港し、インバウンド効果を実感。

新宮市観光協会



クルーズ船で新宮港に降り立つ外国人旅行者

平成30年度前半完成予定
(※整備中の荷捌き地)



地域経済を支える物流・産業の拠点

既存の**貨物専用岸壁を有効活用**背後の**民間施設をリニューアル**

クルーズ船の受入拠点化

岸壁背後にある老朽化した中央市場をリニューアルし、観光市場として集客をはかり、クルーズ寄港を通じた賑わいづくりを目指します。

和歌山市



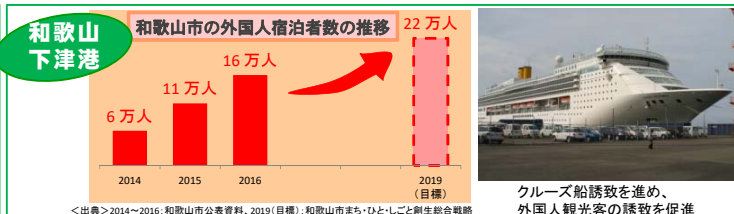
クルーズ船受入拠点化のイメージ

平成32年度完成予定
(※クルーズ船受入拠点化の整備)

地域



海の玄関口を機能強化し、クルーズ寄港回数の増加を促進



クルーズ船誘致を進め、外国人観光客の誘致を促進

和歌山県の観光入込客総数がH28に過去最高を更新。また、H29は和歌山市内の宿泊客数も過去最高記録を更新。

クルーズ船の更なる寄港をめざし、貨物専用岸壁を有効活用した受入環境整備など**インバウンド誘致を促進**

高規格道路の整備も進捗しており、クルーズ船寄港地**背後の観光圏域拡大による相乗効果***に期待

*クルーズ船(500人乗り)1寄港あたり域内消費額が約1,000万円増加。



MAP